

平成28年度 第2回調査・研究委員会会議録

◇日時：平成28年9月1日（木） 10：00～15：00

◇場所：山口県立山口図書館第1研修室

◇出席者：長谷川委員長・嶋田副委員長・山本委員・宮田委員・橋本委員
事務局（金谷・山崎・吉田） 欠席者なし

開会

委員長あいさつ

1 報告事項

(1) 後援依頼

事務局から、第1回委員会終了後に依頼のあったものを報告。

(2) 熊本地震関係

6月30日（木）に東京国立博物館で開催された文化遺産防災ネットワーク推進会議臨時連絡会議（会長事務局出席）と、7月18日（月）に九州国立博物館開催された特別講演会「歴史と共に考える文化財の防災・減災」（山崎事務局員出席）について、事務局から報告を行った。

2 協議事項

(1) 調査事業について

地域の組織・団体のアーカイブズと学校アーカイブズについて、前者を山本委員、後者を嶋田副委員長から資料を使ってアンケート分析について報告。事務局からは今後のスケジュール確認を行う。11月11日（金）の全国大会で委員会報告がある。それに先立ち、11月9日（水）に第3回委員会を開催し、発表内容を確認したい。委員会報告で出た意見を踏まえて3月末の報告書完成（全史料協ウェブサイトへのPDFによるアップ）を目指す。

事務局が提示した報告書の構成案が了承されたことから、これに基づき執筆する。

事務的な部分は事務局が執筆し、アンケート調査の分析や今後の課題は担当委員を中心に、委員において執筆する。なお、先駆的・特徴的な活動をしている機関については、現地調査（館訪問）などを行い、レポート的な紹介を行う（宮田委員ほか）。調査機関の選定及び調査者は、主担当の2委員と事務局とで協議の上決定する。

(2) 平成28年度熊本地震における公文書の被災状況等調査

地震発生後4ヶ月余りが経過し、地震により大きな被害が出た宇土市役所本庁舎の解体作業も始まった。また台風による水損被害も懸念される。こうした現状を踏まえ、熊本県及び県内の45市町村を対象に、公文書の被災状況等調査を実施する。全史料協として調

査・研究委員会が全史料協として災害担当窓口となっていることから、当委員会による調査を行うものである（実務は橋本委員が担当）。

調査は、支援・レスキュー活動の基礎資料とするものとし、公文書の移動時における廃棄の有無や取り扱い、支援のニーズを把握する内容である。

9月上旬には郵便によりアンケートを送付し、天草アーカイブズへFAXにより回答する方法を採る。回答の締切は9月30日。

会長事務局へ情報提供を行った上で、アンケートを実施する。

(3) 公文書館機能普及セミナーin 山口の報告

前日開催された平成28年度公文書館機能普及セミナーin 山口について、アンケートの縦覧を行った（とりまとめ・集計は後日送付）。

なお、セミナーのレポートは橋本委員が執筆することを了承。

(4) その他

第3回委員会は11月9日（水）に三重県津市で開催する。その際には、次期事務局員が同席することを改めて報告する。開催時間等は後日連絡。

閉会

以上